

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 2 チーム	担当課名	学校教育課
事業番号	2-22	事務事業名	読書活動アシスタント派遣事業

判定結果	不要（廃止）
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
6	不要 （廃止）		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
		6	② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
		1	③ 市民ニーズ（需要）や時代変化により、事業が役割を終えている、又は役割が小さくなっている。
			④ 事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
		1	⑤ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
		1	⑥ 民間が実施すべきである（行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等）。
			⑦ 国又は県が実施すべきである（国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等）。
		1	⑧ その他
1	見直しが必要		① 事業規模（サービスの受給者・水準等）を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
			③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		1	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保（負担の見直し、国・県の支援等）について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
0	現行どおり		① 現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
			② 事業を拡充する必要がある。

【判定人からのコメント】

○「不要（廃止）」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 市立図書館はNPOに委託している。この事業をいったん廃止してNPOに委託すべき。</p> <p>② 先生たちの創意工夫で、目的は達成できるのではないかと。わざわざこの予算を使ってやる事業ではない。</p> <p>③ 読書活動の大切さは充分ふまえておりますが、同じ教育委員会での生涯学習課の機能として学校図書館業務の担当をお願いしても良いのではないかと。</p> <p>④ 多くの自治体ではPTA・教師が補っているため再検証が必要。</p>	<p>⑤ 目的は理解できるが、手厚い印象が強い。事業は伸ばしてもらいながら、一方で図書館との連携を上手に進めて欲しい。地域ボランティアの協力をさらに求めたい。</p>